

第1問

<出題の意図>

問題の出典は、秦正樹『陰謀論：民主主義を揺るがすメカニズム』（中央公論新社，2022年）からの抜粋である。民主主義を脅かす陰謀論にどのように向き合うべきかを説いている。

第1問は、国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持っているかどうかについて、受験者の「関心・意欲」を問うている。各問いでは、受験者が社会の問題をテーマとした課題文の内容を文脈とともに正確に読み取ることができているか（問1，問2，問3），また，自分の考えを論理的に組み立て，根拠に基づいて解答することができているかについて，「思考力・判断力・表現力」を問う（問4）。

<解答又は解答例>

問1（30点）

- ①（政治家は再選したいという欲求が強く，そのためには陰謀論も含めて手段を選ばない傾向があるから）

問2（50点）

欧米圏や東アジアのようにデモや署名活動が盛んな国々であれば，陰謀論を言い出す政治家を市民が直接指摘し，糾弾することもできるが，日本人の政治参加はほとんどが選挙を通じた投票参加に限られ，政治家の振る舞いをジャッジする機会が選挙以外にならないため，数年間は陰謀論的な主張が議会で発信され続ける可能性があるうえ，そうした言動を有権者が次の選挙で考慮するかは不確実であるから。

問3（20点）

- ③（マスメディア内部の競争的な仕組みが大手マスメディアの経営を強化するから）

問4（100点）：解答例省略

第2問

<解答又は解答例>

問1 (20点)

バレリーが529日もの間、野生で暮らしたにもかかわらず約2キロも体重が増えていたこと。

問2 (20点)

a pretty high IQ

問3 (30点)

常に1日2回ドッグフードのボウルを目の前に置かれ、1度も食べ物として動物を狩ったことのないペット犬であっても、狩りをする方法をまだ覚えている。

問4 (20点)

- (1) 捕食者にとって目立たず、見つけにくいこと。
- (2) 少ないカロリーですむので、より大型の動物を狩る代わりに、バッタのような小さな昆虫で生き延びることができる可能性があること。

問5 (30点)

バレリーは1年半もの間、飼い主の家族と離れていたにも関わらず、再会した直後に懐き、1人1人を個々に認識していたことから、人間との友情を忘れていないと考えられる。

問6 (80点)

In elementary school, I usually met my friends in the park after school. However, in junior and senior high school, we do not meet after school so often. Instead, most of our communication is on SNS with our phones. This kind of communication is stressful for me.

When I cannot talk face to face, I worry if my friends understand me. SNS messages are usually short, so it is difficult to show my true feelings. One time, I thought my friend was angry because of the way she wrote her message. In fact, she was not angry at all.

I use emojis to avoid misunderstandings, but I am still not always sure. Technology is useful, but it also creates stress.